

令和6年度

学校評価報告書



綾瀬市立綾瀬中学校

1. 学校は、「学びを生かす人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

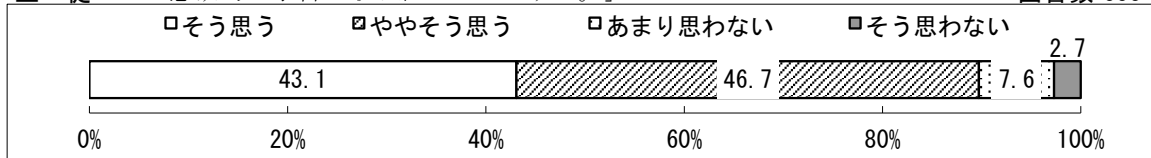
学校の取組

本校では、学校教育目標である「学びを生かす人」を実現するために、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるような生徒の育成を目指します。そのために、全教職員で「生徒がOUTPUTしたくなる5つの授業改革」をテーマに「本時の目標」の提示と「ふりかえり」の時間の確保に努めています。

また、確かな学力の定着に向け、数学・英語で少人数授業を行うとともに、定期テストの前には放課後の学習会を開催し、個に応じた基礎基本の定着を図っています。

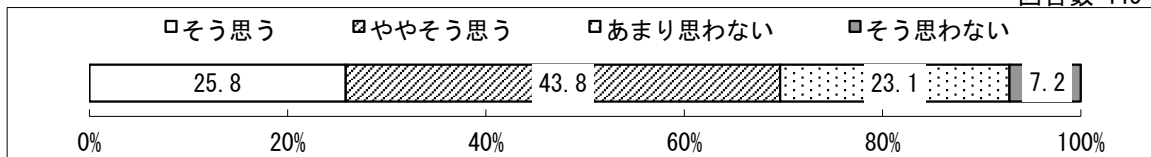
生徒 「意欲的に学習に取り組んでいますか。」

回答数 555



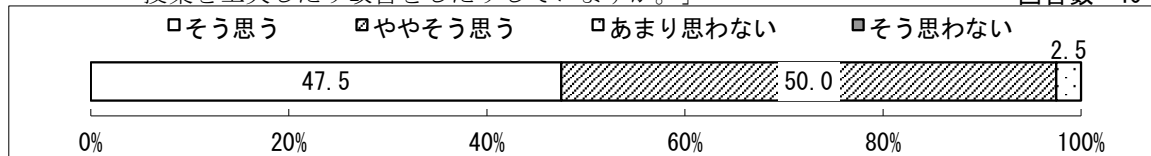
保護者 「お子さんは、学校の学習に意欲的に取り組んでいると思いますか。」

回答数 445



教職員 「あなたは、生徒が「主体的・対話的で深い学び」につながるように授業を工夫したり改善をしたりしていますか。」

回答数 40



今後に向けて

生徒の9割が肯定的な回答でした。これは昨年度より10ポイントも向上しています。また保護者も6ポイント向上しています。全教職員で同じ取組をした結果、生徒がどの授業に対してもルーティンとしてとらえることができたからだと考えます。

さらに、少人数授業や放課後の学習会の開設などで、一人ひとりの課題の克服にも力を入れてきた成果と考えられます。

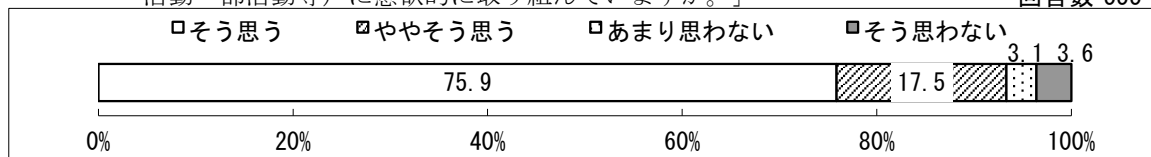
2. 生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。

学校の取組

本校では、体育祭や合唱祭などの学校行事において、生徒会と実行委員会を機能させ、生徒主体の企画運営をすすめています。部活動では、顧問や指導協力者の支援のもと、各部や一人ひとりの目標達成に向け、日々意欲的に活動しています。

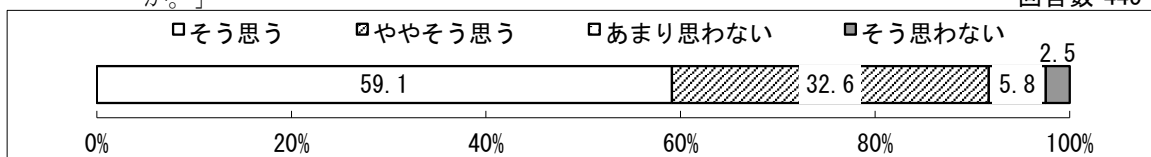
生徒 「教科以外の活動（体育祭・合唱祭・修学旅行等の学校行事・生徒会活動・部活動等）に意欲的に取り組んでいますか。」

回答数 555



保護者 「お子さんは、教科以外の活動（体育祭・合唱祭・修学旅行等の学校行事・生徒会活動・部活動等）に積極的に参加していると思いますか。」

回答数 445



今後に向けて

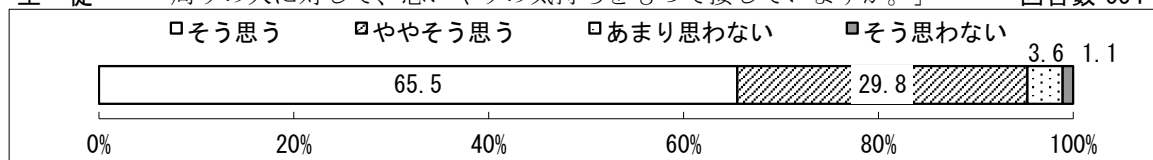
9割以上の生徒と保護者が肯定的な回答をしています。このことから学校行事や部活動に対して意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。これは、生徒の主体性を重視し、目的意識を全教職員がしっかりと持って指導している成果と考えられます。保護者の方も学校行事や部活動に対してサポートしていただき、学校の取組に対する協力と理解が深いと考えます。今後も、生徒が主体的に取り組むことができる行事の運営を目標としていきたいです。また、自己有用感や達成感を味わえるような活動の支援を心がけていきます。

3. 学校は、「共に生きる人」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

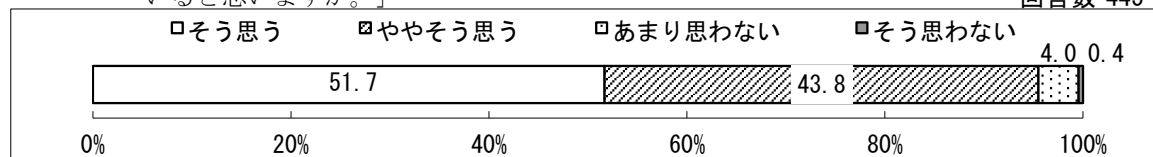
本校では、学級活動だけでなく、全学年が集まる専門委員会でもグループエンカウンターを行いました。その経験を生かし、どのようにしたら自分の意見が相手に伝わるかなど、共に生きていくための知識を学ぶ機会を作っています。また、1、2年生では道徳科の授業を学年間のローテーションで行いました。それぞれの教員が強みを生かすことで生徒に興味を持たせ、理解を深める努力をしています。3年生では振り返りを学年だよりに掲載することで保護者に発信し、相互理解を深めました。生徒自身の心の安定と成長を目指し、一層の道徳教育の充実を図っていきます。さらに、毎日10分間の朝読書など、豊かな心を育む活動を推進しています。

生徒 「周りの人に対して、思いやりの気持ちをもって接していますか。」 回答数 554



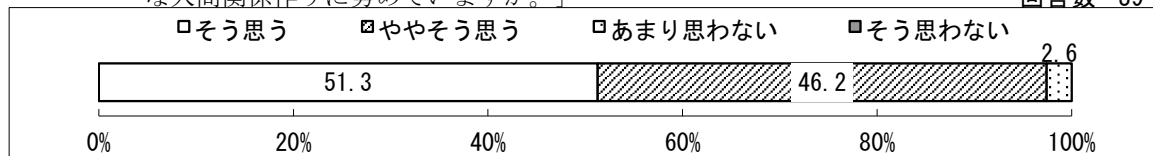
保護者 「おさんは、周りの人に対して、思いやりの気持ちをもって接していると思いますか。」

回答数 445



教職員 「あなたは、道徳科の授業や日頃の生徒支援等を通して、生徒の良好な人間関係作りに努めていますか。」

回答数 39



今後に向けて

9割以上の生徒が「思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。また教職員も同様に「良好な人間関係作り」に努めていると回答しています。一昨年度、昨年度から引き続き、保護者も9割以上が「お子さんが、思いやりの気持ちをもって接している」と回答しています。本校生徒の素直で心やさしい気質は、教職員、生徒、保護者の人間関係にも支えられていると考えられます。

今後も生徒との良好な人間関係作りを意識し、道徳教育や読書活動の推進に努めるとともに、保護者と教職員が生徒の健全育成に向けた活動を通して、心の育成を図っていきます。

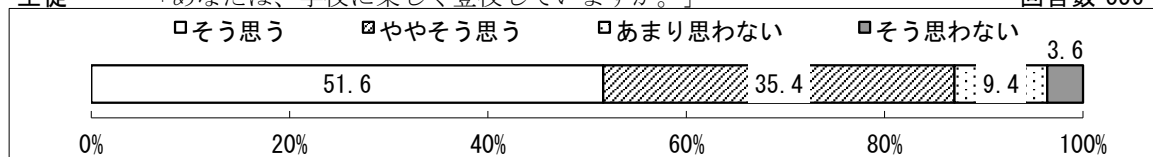
4. 生徒は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、毎月末のスクールアンケートや1、2学期の教育相談、日々の会話を通し、いじめの早期発見や再発防止に取り組むとともに、生徒の課題や悩みに早い段階で対応するよう努めています。

また、学級活動における意欲や満足感が高まるためのソーシャルスキルの向上にも努めています。さらに、生徒の充実した学校生活の実現のため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど心理の専門家とも連携し、心の安定や、生活の支援にも努めています。

生徒 「あなたは、学校に楽しく登校していますか。」 回答数 556



今後に向けて

約9割の生徒が「学校生活が楽しい」と回答しており、学校生活にほぼ満足している様子がうかがえます。これは、普段の授業やクラス活動、また、学校行事や部活動、委員会活動など個々の生徒が活躍できる場があり、それが充実感や満足感につながっているためと考えられます。また、書籍が充実している学校図書館やグラウンド、教室など、安心して休み時間を過ごせる場所があることも、楽しさにつながっていると思われます。併せて、教職員が生徒一人ひとりのさまざまな課題に丁寧に対応した成果とも考えられます。

一方、人間関係や学習面、生活面などに課題や不安を抱え、学校に来にくくなる生徒が増えていることにも留意し、対応していく必要があります。

今後も月末のスクールアンケート、教育相談等、生徒理解に向けた相談活動を継続して行うとともに、学級活動における意欲や満足感が高まるようにソーシャルスキルの向上を図っていきます。また、校内の学習支援ルームの活用や校外にある教育支援教室(ルピナス)と密に連携を取りながら、いじめや集団不適応等の生徒がなくなるような学校生活の支援の工夫をしていきます。

5. 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

学校の取組

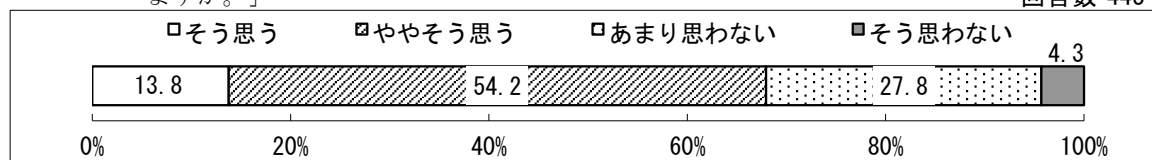
本校では、日頃の生徒との対話を大切にするとともに、毎月末のスクールアンケートの実施や1、2学期の教育相談を通して、生徒の声に耳を傾け、変化の兆しを見逃さないように努めています。

また、いじめ問題等検討委員会や校内支援委員会(いじめ防止検討委員会)を組織し、学校全体で情報を共有するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携して、いじめに対して迅速かつ適切な対応に努めています。

保護者

「学校は「綾瀬中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及びいじめの早期発見・再発防止のための取組を行っていると思いますか。」

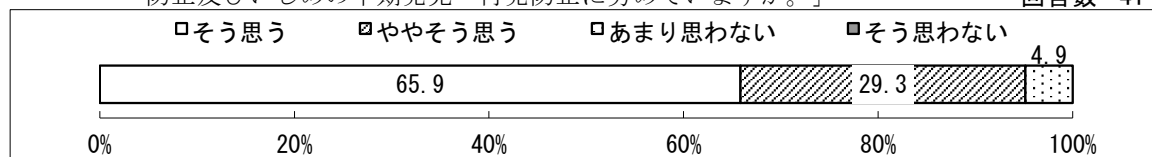
回答数 443



教職員

「あなたは「綾瀬中学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止及びいじめの早期発見・再発防止に努めていますか。」

回答数 41



今後に向けて

「そう思う」「ややそう思う」という保護者からの回答が占める割合が、約7割でした。ほとんどの教職員が取組を行っているという回答に対し、「あまり思わない」「思わない」という保護者からの回答が3割あることを受け止め、「いじめゼロ」を目指し、改めて全教職員でいじめの早期発見・再発防止の取組を徹底していくと同時に、保護者から見たときに、どのような点が「そう思わない」につながっているのかを検証する必要があると感じました。

学校が行っている具体的な取組として、月末のスクールアンケートで生徒の状況を把握し、いじめがあった場合は速やかに聞き取りを行いチームで対応していきます。情報モラル講演会の開催など、SNSが起因するいじめ等の未然防止にも力を入れるとともに、いじめ発生後の指導と見守りを大切にします。併せて、部活動や学級活動で、いじめ防止三カ条の作成、道徳科の時間では生徒の心の教育に努め、一人ひとりが人権を大切にする学校・学級づくりを目指した指導に努めていきます。

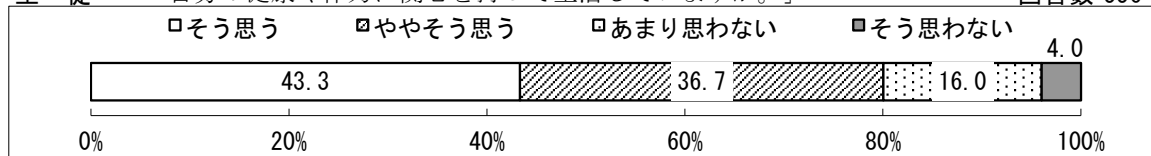
加えて、日ごろからご家庭と学校とで情報共有を行い、より連携した対応ができるよう心掛けていきます。

6. 学校は、「健やかな人」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

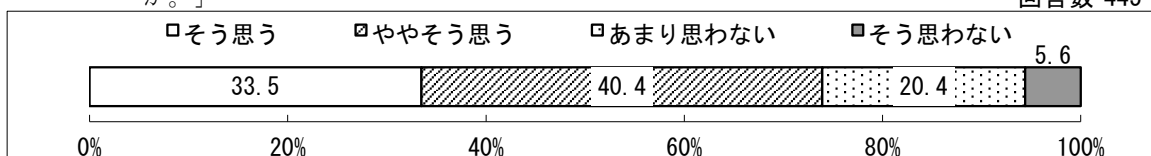
本校では、生徒一人ひとりの心と身体の健康に留意し、全職員で保護者との連携のもと、適切に対応しています。また、生徒の「心と身体の健康」を育成するために、生徒には学級活動、道徳教育、保健指導、学校行事や部活動等を通してその充実を図っており、朝会などでの校長や教職員の講話、保健室前の掲示物等を通して、その願いを伝えています。家庭へは、定期健康診断結果の連絡や、保健だより・学校だより等で健康に関するさまざまな情報を発信しています。

生徒 「自分の健康や体力に関心を持って生活していますか。」 回答数 556



保護者 「おさんは、自分の健康や体力を意識して生活していると思いますか。」

回答数 445



教職員 「あなたは、生徒が自分の健康に留意して生活するように、健康観察や保健指導に取り組んでいますか。」

回答数 42



今後に向けて

約8割の生徒が、「健康や体力に関心を持って生活している」と回答しています。教職員も9割以上が肯定的な回答であり、生徒の姿に反映されているのではないかと考えられます。しかし保護者は「そう思う」「ややそう思うの」回答を合わせても7割と、若干低いことが気になります。部活動の制限や外で遊ぶ機会が減っていることなどや、スマートフォンの利用時間が長く、睡眠時間に影響を及ぼしていること等が影響していると考えられます。綾瀬中学校では「スマートホンの利用は夜9時まで」を合言葉に、生徒に呼びかけています。今後も、生徒の心と身体の成長にむけたきめ細かい支援を行い、より一層指導の充実を図りながら、生徒が健康に学校生活を過ごせるように努めていきます。

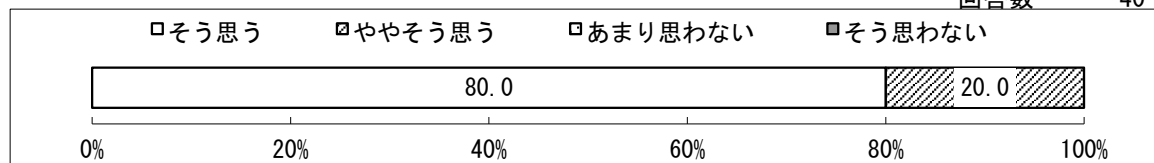
7. 学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、年間3回の避難訓練を通じて、防災教育と災害時における適切な行動を指導しています。また、学期ごとに全教職員で安全点検を行い、改善すべき箇所の確認を行っています。日常においても、「修繕依頼用紙」を活用して、危険箇所の修繕を速やかに行い、安全を図っています。

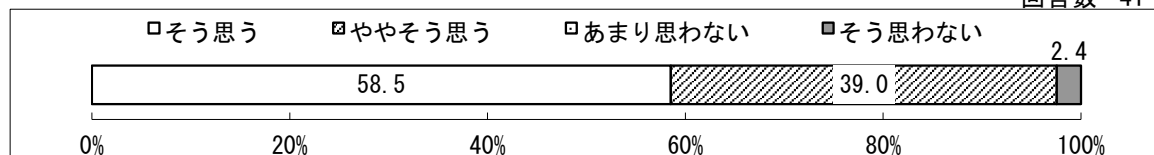
教職員 「あなたは、生徒の安全を意識して教育活動を行っていますか。」

回答数 40



教職員 「あなたは、生徒の安全を意識して学校設備の点検・整備に取り組んでいますか。」

回答数 41



今後に向けて

教職員のアンケートを見ると、「生徒の安全を意識して教育活動を行っているか」という項目に対して、令和3年度以降毎年全員が「そう思う」「ややそう思う」と回答しており、日頃から教職員が安全に対して高い意識を持って教育活動に取り組んでいることがわかります。また、9割以上の教職員が施設の点検・整備にも努めています。

今後も、地震・天候災害等を想定し、自ら考えて行動できる防災教育を計画的に実施し、生徒・教職員の災害時の対応に向けた意識をさらに高め、教育活動、施設の点検・整備を進めていきます。併せて救命処置の研修を教職員だけでなく、部活動代表生徒などにも実施しており、生徒の安全に努めていきます。

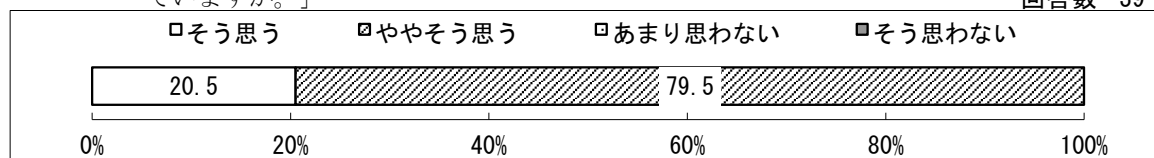
8. 学校は、生徒に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うために、支援方針を明確にして、迅速に個別の対応ができるような支援体制を整えています。その際には、教育相談コーディネーターを中心に、必要に応じ専門機関とのケース会議を開いたり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携したりするなど、実効性のある支援に努めています。

教職員 「あなたは、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の工夫をしていますか。」

回答数 39



今後に向けて

すべての教職員が個に応じた支援の工夫をしていると回答しています。しかし、個々の生徒への対応が増え、ニーズに応じた支援が追い付いていないと感じる場面が少なからずありました。

今後も、教職員の共通理解のもと、生徒一人ひとりの課題や教育的ニーズに応じた支援が強化できるように、学習支援ルームの活用や教職員による教室での支援や巡回等、校内の支援体制の整備に努めていきます。

また、保護者との強固な信頼関係を築くとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用や相談機関とも連携を図り、より充実した生徒支援に取り組んでいきます。

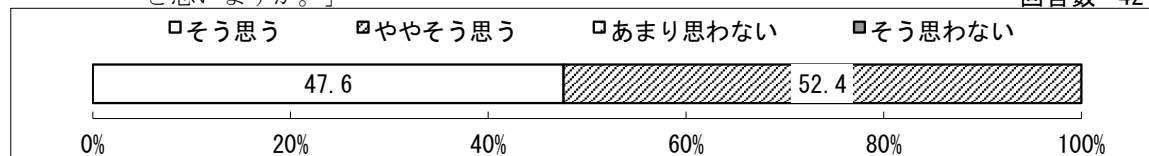
9. 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、年度当初に校長から示されたグランドデザインをもとに、学校教育目標達成のため、各グループが連携して教育活動に取り組んでいます。また、年末に学校運営に関するアンケートを実施し、全教職員からの意見をもとに、グループ業務の反省と評価・見直しを行っています。学校評価をもとに教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善を図っています。

教職員 「本校では、各グループの連携が円滑に行われ、有効に機能している
と思いますか。」

回答数 42



今後に向けて

全教職員が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。また、「学校運営に職員の意見が十分に反映されているか」という質問に対しては、令和4年度以降、肯定的な意見が年々増加しており、今年度は9割後半となっています。校長の学校経営方針を理解し、総括教諭がグループメンバーの意見を吸い上げ、昨年度の反省や意見を反映しながら、各グループが連携して所掌事項を遂行してきた結果と考えられます。

今後も、学校運営組織がより機能するように、建設的に評価・見直しを行い、連携・協働して業務が遂行できるように意識の向上を図っていきます。経験の浅い教職員の育成も校内で図り、学校運営を強化していきます。

10. 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

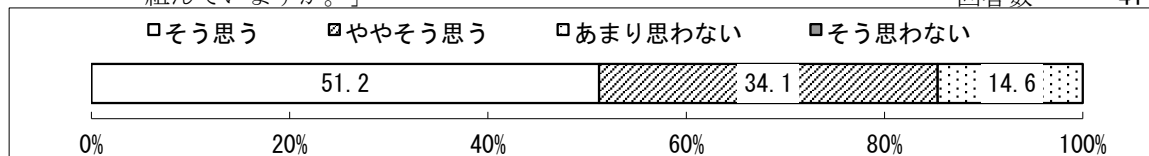
学校の取組

本校では、教員一人ひとりの教科指導力の向上を図るため、校内研究を通して講師による指導の下、全教職員による研究会を行い、指導力向上・授業改善に努めています。また、期間を設けて、全教員による公開授業を行い、参観した教員は自らの参考とするとともに、意見や感想を伝えることによって、相互に授業力向上を図りました。

さらに、教科指導だけでなく、道德教育、支援教育、生徒指導等の教員としての力量向上のために校内研修を企画し、校外研修への参加も推進しています。

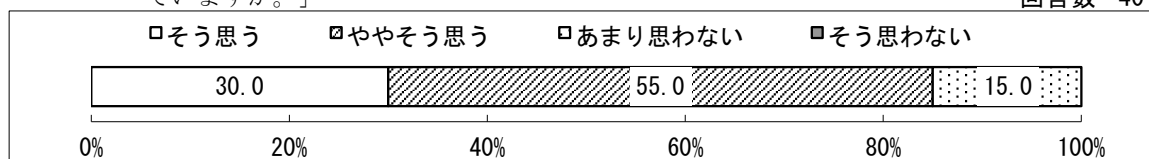
教職員 「あなたは、指導力向上・授業改善にむけた校内研究に積極的に取り組んでいますか。」

回答数 41



教職員 「あなたは、教師の力量を高めるための研究研修に積極的に取り組んでいますか。」

回答数 40



今後に向けて

「指導力向上・授業改善にむけた校内研究」への取組対し、「そう思う」と回答した教員は令和4年度以降年々増加しており、5割を上回っています。「教師の力量を高めるための研修」への取組についても、令和4年度以降年々増加しており、今年度は肯定的な回答が8割を超えています。また、校外やWebで行われる研修に積極的に参加している教員も多くいます。

今後も、校内研究を通して指導力向上・授業改善にむけた取組を推進していきます。また、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していきます。

1 1. 学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。

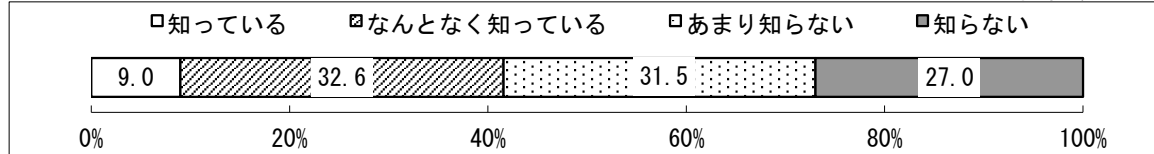
学校の取組

本校では、「学びを生かす人」「共に生きる人」「健やかな人」を学校教育目標に設定し、また、学校グランドデザインを様々な場所に掲示し、必要な資質をそなえ、豊かな個性と高い理想をもった生徒の育成を目指しています。

保護者

「本校の学校教育目標(学びを生かす人・共に生きる人・健やかな人)や学校グランドデザインをご存じですか。」

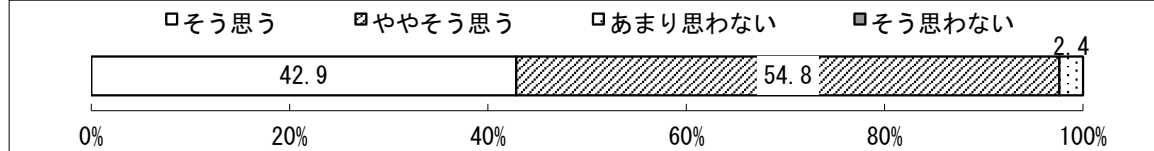
回答数 445



教職員

「あなたは、学校教育目標及び学校グランドデザインを意識した教育活動を行っていますか。」

回答数 42



今後に向けて

これまでも教職員が、学校教育目標や学校グランドデザインで示された生徒像を目指して、教育活動を行ってきました。不十分と考えている教職員もいるので100%になるように徹底していきたいと考えます。今一度グランドデザインを全教職員が読み込み、理解を深めていきます。

1 2. 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

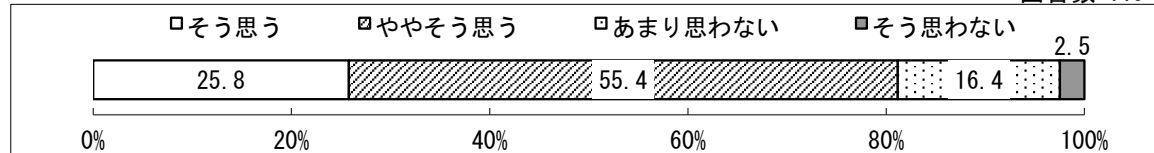
学校の取組

本校では、学校だより・学年だより・授業参観・懇談会等により、教育方針や教育活動について分かりやすく保護者に伝えるよう努めています。また、地域と学校をつなぐ取組として、地域の方に職業講話をしていただいたり、地域の小学生に部活動体験をしてもらうなどの活動を行いました。今年度は青少年健全育成会にご協力いただいて、通学路の安全点検を教員と行いました。保護者や地域の理解や協力のもと、学校との信頼関係を深めています。

保護者

「学校の情報はわかりやすく伝えられていますか。」

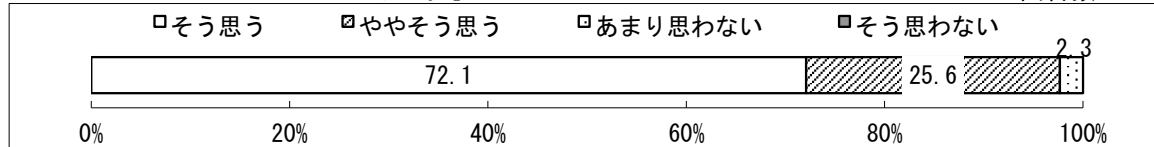
回答数 446



教職員

「本校では、学校の情報を保護者などに伝え、理解や協力を得る工夫をしていると思いますか。」

回答数 43



今後に向けて

肯定的回答が8割を超えています。学校情報配信システムは欠席連絡の用途もあるため、多くの保護者がスマートフォン等にインストールしていますので、保護者に学校の様子がより伝わることになったと考えられます。今後も保護者にとって必要な情報、学校行事での生徒の様子を学校だより、学年だより等で適宜発信し、懇談会や保護者全体会等を通して生徒の様子や課題などを伝え、学校からの情報を家庭に届けていきます。地域に対しては学校ホームページを通じて学校の情報をお知らせし、地域の方々の協力を得ながら学校運営をしていけるよう努めていきます。